

# 問 子宮頸がんワクチン接種の相談体制は

## 教育長 国・道や医療機関と連携して強化



にしやま ゆみこ 議員  
西山由美子

ワクチンの不安解消には親身な相談体制が第一だね

### 接種実績と周知方法

**問** 子宮頸がんワクチンは2013年6月から接種の呼びかけを中止していたが、来年度から再開される。

**答** 8年が経過しワクチンは安全で有効か、本町の現状と課題を伺う。本町の接種実績と周知方法は。

**答** 本町は、平成23年2月1日から子宮頸がん等ワクチン緊急促進事業により、小学6年か

ら高校1年の女子を対象に任意予防接種として実施している。

平成22年度61人、23年度133人、24年度からは中学1年を対象に16人が接種。

25年度から定期予防接種となったが、その後積極的勧奨が中止となり、1人接種した以後接種実績はない。

周知方法は中学1年女子に、積極的勧奨を行っていない旨のチラシを配布し、子宮頸が

んの病気や予防、ワクチン効果、接種後の注意などの情報提供している。

### 無料接種対象者数

**問** 接種再開となると、無料接種対象者はどのくらいいるのか。

**答** 小学6年から高校1年の女子で現時点の対象者は70人となる。

平成25年から接種機会を逃した方には、国の方針が決まり次第速やかに通知される予定。

### 相談体制・周知方法

**問** ワクチンの安全性や有効性、副反応に対する相談体制、対象者への周知方法など課題は、**答** リーフレットなどを活用し対象者へ個別配

布、ホームページ・広報紙などでワクチン接種の有効性や安全性など必要な情報を広く周知する。

また、副反応などの疑問や不安に 대응するため、国・道や医療機関との連携した相談体制を強化し、安心安全なワクチン接種ができる環境づくりに努める。



### 一口メモ

- ① 定期予防接種と任意予防接種の違い  
定期予防接種と任意予防接種の違い  
法律に基づいて市町村が主体となつて実施する。接種費用は公費。(一部で自己負担あり)
- ② 任意予防接種  
希望者が各自で受け、費用は自己負担。



この他に「高齢者支援につながる地域ケア会議の開催状況と課題について」の質問をしました。

